

だい かいしやう しゃさべつ かいしよえん ちいき きやうぎかい ついか しりやう
第2回障がい者差別解消支援地域協議会 追加資料

しよめんさんかしゃ いけん いちらん
書面参加者からの意見一覧

ぎだい しょうがいしゃべつ かいしよあう かか そうだんじやうきやう れいわ ねんど かみはんき
議題 (1) 障害者差別解消法に係る相談状況について (令和2年度上半期)

いけん ようし ご意見の要旨
そうだんけんすう すく 相談件数が少ない。
そうだんまどぐち しゅうち 相談窓口が周知されていないのではないか。
そうだんまどぐち ぎやうせい そうだん 相談窓口が行政だから相談しにくいのではないか。
きがる そうだん くふう ひつやう 気軽に相談できる工夫が必要である。
ぜんたいてき ごうりてき はいりよ たいおう か 全体的に合理的配慮の対応に欠けている。
しりやう そうだん みみ じれい 資料にある相談はよく耳にする事例である。
あいて たちば た おな めせん そうだん う しせい もと 相手の立場に立って同じ目線で相談を受ける姿勢が求められている。
れいわ ねんど しんがた かんせんしやう えいきやう みつ さ じやうたい つづ そ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、3密を避ける状態が続いたため、相 うだん いた けんすう ぜんねんど くら へ 談に至るまでの件数が前年度に比べかなり減っている。
そうだんしゃ ほんにん じやうきやう そうだん かんきやう ととの すいそく ほんにんいがい 相談者はご本人のみという状況なのは相談しやすい環境が整っていると推測するが、本人以外 き からの相談が1件もないのはなぜなのか気になった。
てきせつ たいおう おも 適切に対応されていると思う。

ぎだい とうきょうと そうだんけつげいようきょう
議題（２）東京都での相談受付状況について

いけん ようし
ご意見の要旨

ほう そうだんたいせい だんかい やくわりぶんたん にんしき
この法の相談体制は、3段階に役割分担されていると認識している。

しく ちょうそん おおたく みじか そうだん
市区町村（大田区）：身近な相談

ちほう こうきおんたい とうきょうと せんもんせい もと じれい
地方公共団体（東京都）：専門性が求められる事例。

くに そうだんたいおう かいけつ こんなん かんけいきかん れんけい
国：相談対応による解決が困難となったとき、関係機関と連携する。

おおたく そうだん じれい とうきょうと くに そうだん れい
大田区に相談のあった事例で、東京都や国に相談した例はあるか。

しりょう か つづ なか ちゃくよう こんなん しょう しゃ かいごしゃ
資料5の1（1）イについて、コロナ禍が続く中、マスク着用が困難な障がい者の介護者にお
いても、悩むところであり対応の検討を望む声は多い。

しりょう そうだんないよう ごうりてきはいりよ かん いちばんおお しょう しゅべつ したい ふじゆう
資料6について、相談内容は合理的配慮に関することが一番多く、障がい種別では肢体不自由
じしゃ もっと おお けっか み しょう しゃ く しょうへき もんだい かいけつ
児者が最も多い結果を見て、障がい者が暮らしていくための障壁の問題は解決されていないこ
とが多いと感じる。

すこ しょう りかい すす のそ
少しでも障がいへの理解が進むことを望む。

てきせつ たいおう おも
適切に対応されていると思う。

ぎだい くに ほふかいせい どうこう
議題（４）国における法改正の動向について

いけん ようし
ご意見の要旨

ごうりてき はいりよ ぎむか ごうりてき はいりよ がいねん ふとうめい
合理的配慮の義務化について、そもそも合理的配慮の概念が不透明である。

ごうりてき はいりよ にん しょう しゃ とお はいりよ ひつよう
合理的配慮は100人の障がい者がいたら100通りの配慮が必要となる。

ほんにん よ そ ごうりてき はいりよ かんが
本人に寄り添うことが合理的配慮であると考える。

ごうりてき はいりよ ぎむか ぎろん へ しゃかい りかい え ひつよう
合理的配慮を義務化することは、かなりの議論を経て、社会の理解を得る必要がある。

そうだんたいせい じんざい いくせい かくほ そうきゅう すす ひつよう
相談体制の人材の育成・確保を早急に進める必要がある。

しょう しゃさべつ かいしょう む ぐたいれい も しゅうち りかいそくしん うえ
障がい者差別の解消に向けて具体例を盛りこんだガイドラインを周知し、理解促進していく上
で、合理的配慮を義務化していくことも必要かと思う。

ちてきしょう しゃ そうだん すく たいへんき
知的障がい者からの相談が少ないことが大変気になる。

てきせつ ぎろん おち
適切な議論がされていると思う。

ぎだい
議題 (5) その他

いけん ようし
ご意見の要旨

せいしんしょう しゃ かぞく へんけん すこ くる
精神障がい者とその家族への偏見は、少しずつよくなっているとはいえ、いまだに苦しんでい
ほんにん かぞく くみん
る本人・家族がいることを区民にわかってほしい。

いぜん せいしんしょう しゃぞう いま まった か ちいき ふつう せいかつ せいしんしょう しゃ
以前の精神障がい者像は、今は全く変わっている。地域で普通に生活できている精神障がい者
おお りかい
が多くいることを理解してほしい。

たいめん そうだんしえん とき かんせんたいさく ちゃくよう とう しゅし しょうどくめんかいしつ ひろ とう
対面での相談支援をする時、コロナ感染対策（マスク着用）等の手指の消毒、面会室の広さ等
かなが ひつよう おも
を考える必要があると思う。

かいごしゃ おや はな にちじよいかつ す ぼめん なか ほんにん ふとう あつか まわ
介護者（親）から離れ、日常生活を過ごす場面の中で本人が不当な扱いをされていないか、周
め ちいき りかいそくしん すす のぞ
りの目として地域の理解促進が進むことを望む。

か しょう とくせい ちゃくよう こんなん とう りかい
コロナ禍において、障がい特性によりマスク着用が困難なこと等、なかなか理解してもらえな
ぼめん おお きぐ
い場面が多くありそうなことに危惧している。

しよめん ほんい ぶんしょう つた ふあん かいぎ たいおう かんきょう とどの
書面では本意が文章から伝わっているかが不安である。Web会議に対応できるよう環境を整え
かなが おも
ていけるよう考えたいと思う。